

4. 主要渋滞箇所の追加候補箇所の抽出について

① 主要渋滞箇所追加候補の抽出方針

＜抽出方針＞

① 幹線道路の開通

平成25年度以降幹線道路開通後の周辺信号交差点において、開通等の影響により交通流動が変化し、交通渋滞が発生している箇所があれば新たな主要渋滞箇所候補として抽出する。

② 大型施設の開業

平成25年度以降大型集客施設等開業後の周辺信号交差点において、開業等の影響により交通流動が変化し、交通渋滞が発生している箇所があれば新たな主要渋滞箇所候補として抽出する。

③ 道路管理者及び各自治体の要望

過去からの環境の変化によるもの以外として、その他道路利用者の増加等により交通流動が変化し、交通渋滞が発生している箇所があれば新たな主要渋滞箇所候補として抽出する。

②沖縄県における新規主要渋滞箇所追加フロー

【R4年度より施行】

- R3年度WG・協議会において、新規の主要渋滞箇所を特定するためのフロー（下図）が承認された。
○今年度も下記フローに従い、主要渋滞箇所の追加候補箇所を検討したが、対象は0箇所となった。

追加方針1

新規路線開通等の
影響による新たな
渋滞発生箇所(※1)

(0箇所)

追加方針2

大型集客施設開業等の
影響による新たな
渋滞発生箇所(※1)

(0箇所)

追加方針3

道路管理者および
各自治体の
要望箇所(※2)

(4箇所)

※1. プローブデータ等の客観的データから、開通・開業後に明らかな速度低下が確認された箇所を新たな渋滞発生箇所とする。

主要渋滞箇所選定指標(1軸～3軸)
による評価を実施

該当 (0箇所)

渋滞対策協議会(WG)における承認

該当 (0箇所)

主要渋滞箇所に追加選定

非該当
(4箇所)

該当しない箇所は、
次年度に要望箇所として
挙げられなければ、
モニタリングは行わない

非該当
(0箇所)

※2. 追加方針3については、渋滞しているとの住民要望だけでは渋滞していない可能性もあるため、必ず現地確認を行い、渋滞していることを担保する現地確認結果の提出を条件とする。

③主要渋滞箇所選定指標(1軸～3軸)による評価結果

○抽出方針1・2に該当する箇所は無く、抽出方針3に該当する箇所に対して、主要渋滞箇所選定指標による評価を行った。

○その結果、選定指標に該当しなかったため、**追加候補なし**となった。

■: 基準値を超える指標

No.	箇所名	市町村	抽出要件		選定指標集計結果(R7年次データ)					該当状況
			追加方針1・2 (道路・店舗)	追加方針3 (要望)	1軸 (80万人時間/年以上)	1'軸 (182.6人時間/時以上)	2軸 (ピーク時速度20km/h以下かつ、昼間12時間損失時間ワースト100以内)		3軸 (休日の速度低下が著しい箇所)	
					年間 渋滞損失時間 (人時間/年)	ピーク時 渋滞損失時間 (人時間/時)	損失時間 ランキング	ピーク時 旅行速度 (km/h)	休日の 速度低下	
1	仲尾次(北)	名護市	—	● (国)	177,447	63.4	142	22.5	該当なし	非該当
					—	—	—	—		
2	金武湾港入口	うるま市	—	● (うるま市)	125,396	58.9	182	19.1	—	非該当
					—	—	—	—		
3	無名 (ローソンうるま田場小学校前店近く)	うるま市	—	● (うるま市)	55,598	25.7	253	16.8	—	非該当
					—	—	—	—		
4	仲間	南城市	—	● (県)	170,688	67.4	147	5.0	—	非該当
					—	—	—	—		

※2軸はAND条件となっているため、2つの指標どちらもが基準値を超えた場合にのみ「2軸に該当」となる。

(指標算出におけるその他留意事項)

- ・基本交差点でない箇所については、センサス区間の上下合計を2で割った値。
- ・順位は選定時に損失時間を算出している箇所での順位付けしているため、「〇位相当」の意。